

# 大津市立 上田上幼稚園

日時：2022年12月21日（水）9:00-16:30

場所：滋賀県大津市平野1丁目18-20

大津市立上田上幼稚園は、上田上小学校に隣接し、周りには田んぼが広がり自然に囲まれた地域の中にあります。今回は、幼稚園の園庭で研修を行いました。雨予報で天気が心配されていましたが、青空が垣間見える中で自然体験を行うことができました。

今回は、広い園庭を生かし、普段から身近にある自然を使った自然体験や冬だからこそできる自然体験を学びました。

公開保育、座学、自然体験型環境学習の体験と振り返りを行いました。  
講座の一部を紹介します。

講師 島川武治（しまっち）さん

## ルーペを使って見てみよう！

わたしたちの身の回りには、小さな世界がいくつもあります。そんな、普段意識して見ていない、肉眼では見えにくい世界を、ルーペを使ってのぞいてみます。

木の皮、苔、葉っぱの裏側、虫、植物に付いた水滴…など、さまざまなものをルーペで見ると、いつもと違う景色が見えてきます。ルーペを使うことで、何気なくある自然からさまざまなものを発見することができるのです。



木の表面はどうなっているかな？  
肉眼ではしっかり見られないものを見ることができました！

手のひらにはどんな模様がみえるかな？  
自分の手と友達の手の違いはあるかな？



見つけてきた葉っぱや枝を並べて、雪だるまをつくってみよう！  
どんな形の雪だるまができたかな？

グループで集めた自然のものを使って雪だるまが完成したよ！



## 自然のもので雪だるまを作ってみよう！

4つのグループに分かれ、それぞれがお気に入りの葉っぱを1枚と、葉っぱ以外の自然物を1つ選びます。白い布の上に自分のお気に入りの葉っぱや枝、氷を持ってきて雪だるまを作りました。

次に、雪だるまのお披露目会を行いました。お互いの作品を見合うことで自然と楽しくふれあうことを学びました。

## 講義

午後からは講義を行いました。自然と関わるのが「楽しい」「もう一度遊びたい」と子供たちに思ってもらうことの大切さとその意識の芽生えを園で実践してほしいということについて説明しました。

また、今回の内容を踏まえた今後の保育についてグループに分かれて話し合い、それぞれの意見を発表しました。



## 指導者育成実践学習会の内容について参加者の感想

- 全体的に子供たちが楽しんで取り組めていて良かった
- 自然物の感触や色の違いを子供たちが自ら気づいて感じてくれていた
- 抵抗なく自然の空間に入り、触れ合うことができた
- 園庭があることのありがたさに改めて気づくことができた
- 自然のものに触れ合うことで、意識しなくてもあたりまえのものになる
- 同じ葉っぱでも、1つ1つに違いがあり、個性があることに気づいてもらう

## 今後自然体験型環境学習を進めていくには？

- 違う園と自然保育交流したり、神社へ遊びに行ったりする
- 自分で色塗りしたレインコートを着て雨の日に遊ぶ
- 地域の自然を知っていかないと自然保育をするのは難しそう
- 子どもたちにとってためになる、楽しい保育につながるよう、こちら側の引き出しを増やしたい

## 自然の中でいろんな色を探してみよう！

指定された色のものを園庭の中から探してタッチしにいきます。まず、園庭の中にあるものの中から、黄色や赤色などの色を探します。園庭にはカラフルな色の遊具があり、簡単に見つけることができました。

次に、探す対象を自然物に絞ります。自然の中には、緑色や茶色以外にも、青色や黒色もあるということに気づきました。自然物の色に着目することで、自然の中にも多くの種類の色が存在することを学ぶことができます。



園庭にはいろんな色の自然がたくさんありました！

園庭の自然に青色のものはあるかな？

